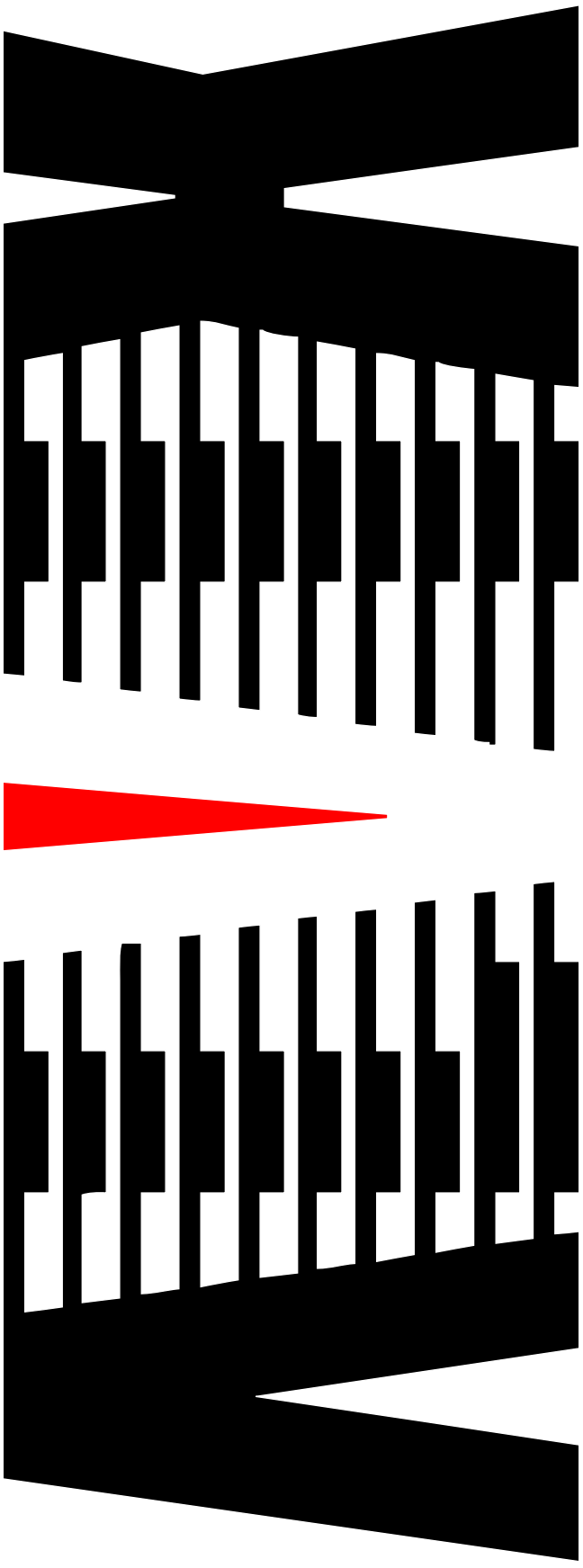
“アルビクス SDI キーヤ”
MSK−814

取扱説明書

Ver. 1.1



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為の指示に従って下さい。
もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目　次

注意事項　・・・・・　２
１．主な機能と特長　・・・・・　３
２．仕様　・・・・・　４
３．概略回路図　・・・・・　５
４．各部の名称と機能　・・・・・　６
５．外部通信コントローラ操作説明　・・・・・　９
６．ＨＴＴＰアクセス　・・・・・１７
７．ネットワーク設定　・・・・・２５
８．ＦＴＰアクセス　・・・・・２８
９．合成手順　・・・・・３１
１０．ファイル仕様　・・・・・３２

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）

◇ 煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）

◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）

◇ 次の様な所には置かないで下さい。
湿気の多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所
安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

１．主な機能と特長

１．１　ＭＳＫ－８１４の機能と特徴

●合成基板（ＭＳＫ－８１４）

◇主信号に１ｃｈの副信号及び静止画ファイル（ＪＰＥＧ）を同時または個別に合成することができるＨＤ／SD－ＳＤＩ対応のキーヤーです。
また、主信号に副信号の音声を合成する機能も有ります。

◇メイン出力の他にモニタ出力・プレビュー出力を持っています。
電源 OFF 時は、メイン出力に主信号をスルーアウトします。

◇フレームメモリを有し、入力源に対して１フレーム±１Ｈで出力します。
また、ゲンロック機能が有ります。

◇入力信号が無くなった場合、内部同期（ＨＤ／SD）で出力可能です。

＜静止画ファイル合成＞

◇合成する画像データは、電源投入時に制御基板から合成基板内の揮発性メモリ４枚に書き込みされます。

◇ＣＵＴもしくはＦＡＤＥで合成のＯＮ／ＯＦＦが可能です。

◇合成キーは、多値（２５６段階）です。

＜副信号合成＞

◇主信号に同期している副信号及びキー信号が入力可能です。

◇副信号合成キーは副信号のキー入力から抽出します。
キー入力が無い場合は副信号入力の輝度成分から作成されます。（セルフキー）

◇合成キーの抽出はゲイン、スライスともに±２０％１００ステップの範囲で調整が可能です。

＜音声合成＞

◇主信号に同期している副信号の音声を合成する事が可能です。

◇主信号のエンベデッドオーディオ８ｃｈに副信号の２ｃｈ（選択可能）をモノラル化し合成します。

◇合成モードには、５．１ｃｈモードと通常モードが有ります。

通常モード＝（主信号音声＊主信号音声ゲイン）＋（Ｍ＊副信号音声ゲイン）
通常モードでは、チャンネル毎に合成するしないを選択可能　最大8ch合成可能
※Ｍ＝（副信号ch1＋副信号ch2）／２　　副信号のch1、2は8chより選択可能。

５．1chモード
L、R＝（主信号 L or R＊主信号音声ゲイン）＋（（－3dB＊Ｍ）＊副信号音声ゲイン）
C＝（主信号 C＊主信号音声ゲイン）＋（Ｍ＊副信号音声ゲイン）
LS、RS＝（主信号 LS or RS＊主信号音声ゲイン）＋（（－6dB＊Ｍ）＊副信号音声ゲイン）
LFE はスルー

●制御基板（ＭＳＫ－８１５）

◇ＬＡＮを使用し合成画像及びキーファイルをファイル転送（ＦＴＰ）にて行いフラッシュメモリ（５１２Ｍｂｙｔｅ）に格納します。

◇外部から合成のＯＮ／ＯＦＦ、画像選択（画像ファイル４種類から選択）は、ＴＣＰ／ＩＰ通信で行います。

◇制御基板は、合成基板４枚に１枚必要です。

２．仕様

◆入力信号
　入力信号数 ：３系統［主信号(LINE)×１、副信号(ＦＩＬ)×１、キー信号(KEY)×１］
　信号形式　　：ＳＤ-ＳＤＩ　 ＳＭＰＴＥ２５９Ｍ－Ｃ　 ４８０ｉ［Ｄ１］
　　ＨＤ-ＳＤＩ　 ＳＭＰＴＥ２９２Ｍ　　１０８０ｉ
　入力接栓　　：ＢＮＣコネクタ
　　※主信号に対して副信号の位相は－５００Ｈ～＋１Ｈ以下である必要があります。
　　※副信号とキー信号の位相差は±０．５Ｈ以下である必要があります。
◆出力信号
　出力信号数 ：３系統（メイン×１、モニタ×１、プレビュー×１）
　信号形式　　：入力信号と同形式
　出力接栓　　：ＢＮＣコネクタ
◆リレースルー　　：電源断時に主信号入力とメイン出力間をリレー回路で
　機械的に短絡します。
　※リレー回路通過による信号ロスを有します。
◆フェードＩＮ／ＯＵＴ　：カット及びフェードスピード設定可能
　0(ｶｯﾄ),5,10,15,20,30,40,50,60 ﾌﾚｰﾑ
◆キーゲイン設定　　：±２０％　１００段階（０～９９　設定５０＝０%）
◆キースライス設定　　：±２０％　１００段階（０～９９　設定５０＝０%）
◆入出力遅延　　：主信号に対しての遅延量を１フレーム±１Ｈの範囲で調整可能
◆外部制御（イーサネット）
　プロトコル　　：ＴＣＰ／ＩＰサーバー、複数のクライアントから制御可能。
　入力接栓　　：ＲＪ－４５モジュラ

◆基板実装数　　：最大実装　合成基板　８枚、制御基板　２枚

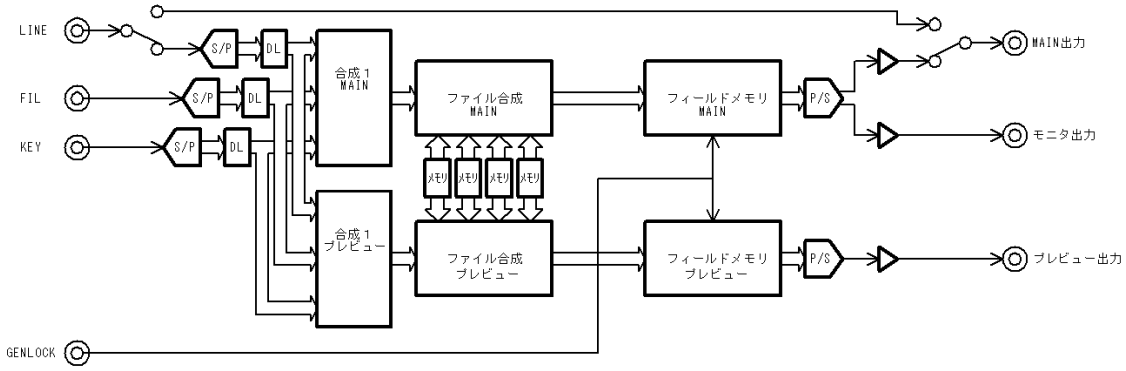
◆外形寸法　　：Ｗ４３０ × Ｈ１７６ × Ｄ５６０mm
　４Ｕラックマウントサイズ

◆電源電圧　　：１００Ｖ～２４０Ｖ±１０％　ＡＣ　５０／６０Ｈｚ
　※リダンダント仕様

◆使用温度　　：５℃　～　４０℃

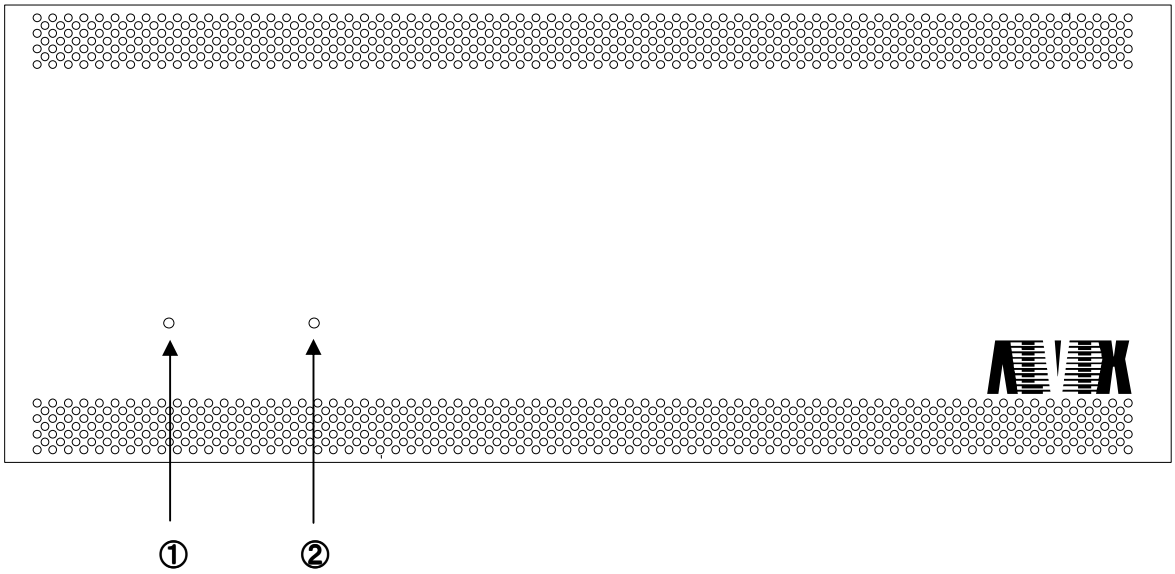
仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります

3. 概略回路図(映像信号の流れ)



4. 各部の名称と機能

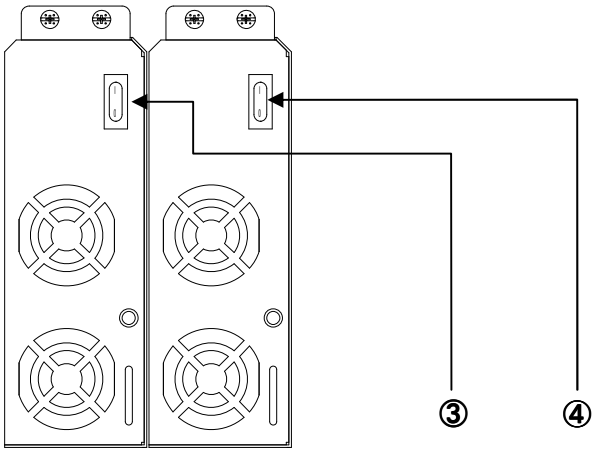
4．1　フロントパネルの機能



① 電源ユニット１　パワーインジケータ
　　電源ユニット１の動作状態をＬＥＤで表します。

② 電源ユニット２　パワーインジケータ
　　電源ユニット２の動作状態をＬＥＤで表します。

4．2　フロントの機能（フロントパネルを開いた状態）

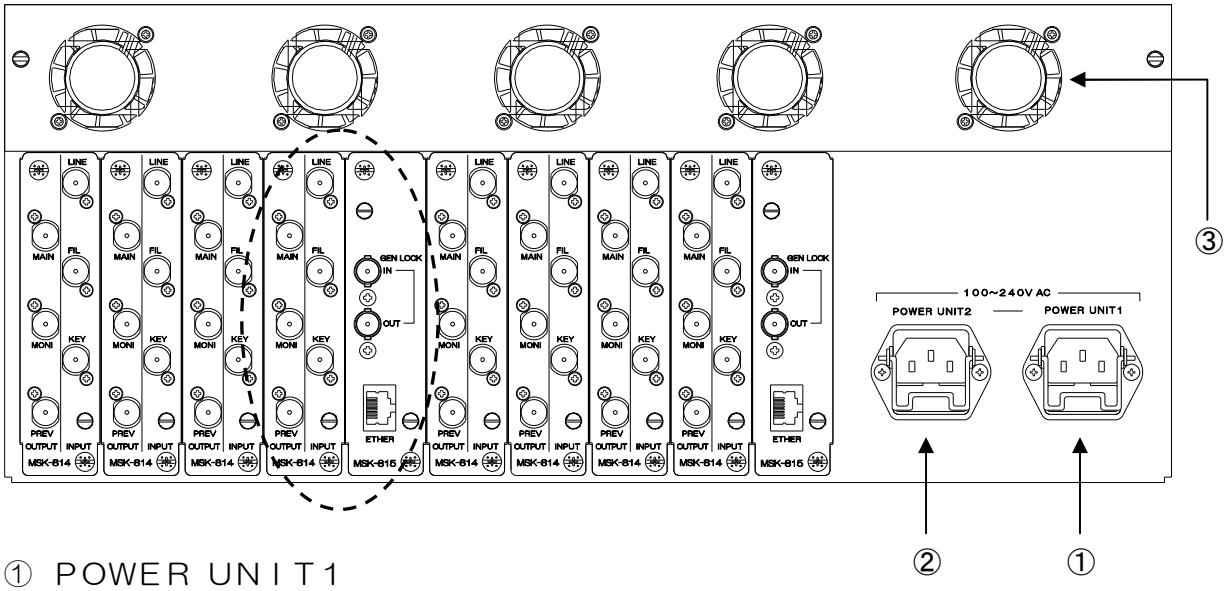


③ 電源ユニット１　パワースイッチ
　　電源ユニット１の電源をＯＮ／ＯＦＦします。

④ 電源ユニット２　パワースイッチ
　　電源ユニット２の電源をＯＮ／ＯＦＦします。

※パワースイッチはフロントパネルを開いた状態で操作可能です。

４．３　リアパネルの機能

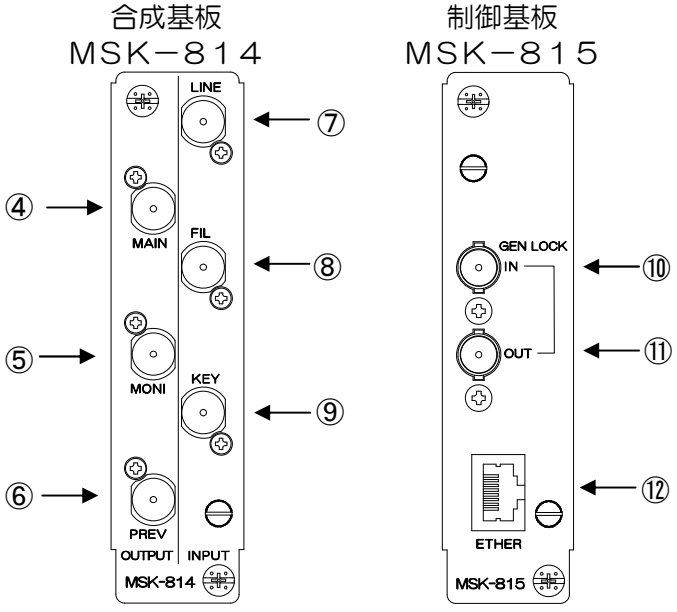


① ＰＯＷＥＲ ＵＮＩＴ１
電源ユニット１のＡＣ入力（３Ｐインレット）です。

② ＰＯＷＥＲ ＵＮＩＴ２
電源ユニット２のＡＣ入力（３Ｐインレット）です。

③ 冷却 FAN
冷却 FAN は吐出しになります。

【破線部拡大図】



④ ＭＡＩＮ 出力コネクタ
メイン信号を出力するコネクタです。

⑤ ＭＯＮＩＴＯＲ 出力コネクタ
モニタ信号を出力するコネクタです。

⑥ ＰＲＥＶＩＥＷ 出力コネクタ
プレビュー信号を出力するコネクタです。

⑦ ＬＩＮＥ 入力コネクタ
主信号を入力します、入力信号はHD／SD－SDＩです。

⑧ ＦＩＬＬ 入力コネクタ
副信号（ＦＩＬＬ）を入力します、入力信号はHD／SD－SDＩです。

⑨ ＫＥＹ 入力コネクタ
幅信号（ＫＥＹ）を入力します、入力信号はHD／SD－SDＩです。

⑩ ＧＥＮＬＯＣＫ 入力コネクタ
ＧＥＮＬＯＣＫ 信号を入力します。
入力信号はＮＴＳＣ アナログ（ＳＭＰＴＥ １７０Ｍ）です。

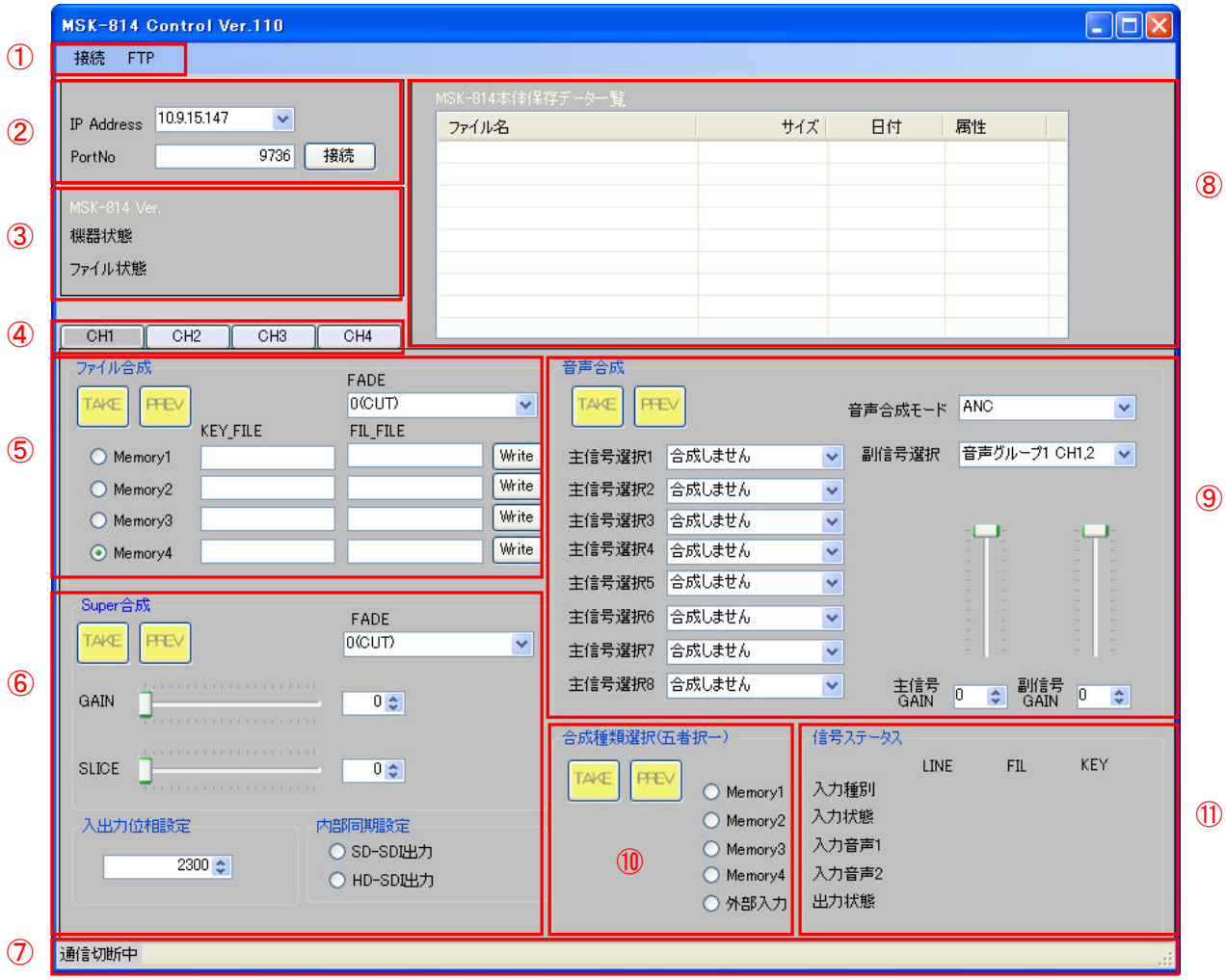
⑪ ＧＥＮＬＯＣＫ 出力コネクタ
ＧＥＮＬＯＣＫ 入力信号をスルー出力します。（バッファ無しスルーアウト）

⑫ ＥＴＨＥＲ コネクタ（１０／１００ＢＡＳＥ－Ｔ）
イーサネット・ネットワークから制御する場合に接続します。
※ピンアサインについては別冊「外部制御仕様書」の「１．外部制御仕様」を参照してください。

5．外部通信コントローラ操作説明

5．1　起動画面

ＭＳＫ－８１４Ｃｏｎｔｒｏｌ　Ver.１１０を起動するとメイン画面が表示されます。



①．メニューバー

ａ）接続プルダウンメニュー

・ＩＰ検出

ＭＳＫ－８１４のＩＰアドレスを検出します。

※同一サブネット内のＩＰアドレスを検出します。

ｂ）ＦＴＰプルダウンメニュー

・データアップロード

ＭＳＫ－８１４本体へ画像データをアップロードします。

・データダウンロード

ＭＳＫ－８１４本体から保存データをＰＣにダウンロードします。

・表示更新

保存データー覧表示を更新します。

②. ＴＣＰ接続設定

ａ）ＩＰ Ａｄｄｒｅｓｓ
ＭＳＫ－８１４のＩＰアドレスを入力します。

ｂ）ＰｏｒｔＮｏ
ＭＳＫ－８１４のポート番号を入力します。

ｃ）接続ボタン
ＴＣＰ接続、切断をします。

③. 本体ステータス

ａ）本体ステータス
ＭＳＫ－８１４本体の状態を表示します。

④. ＣＨ選択

ａ）ＣＨタブ
制御するチャンネルを選択します。
※チャンネルがない場合（基板がない）選択できません。

⑤. ファイル合成

ａ）ＴＡＫＥボタン
ＭＡＩＮ出力の合成ＯＮ／ＯＦＦをします。

ｂ）ＰＲＥＶボタン
ＰＲＥＶＩＥＷ出力の合成ＯＮ／ＯＦＦをします。

ｃ）Ｍｅｍｏｒｙ１～４ラジオボタン
ファイル合成をするメモリを選択します。
ＭＳＫ－８１４のメモリに合成するファイルを登録しておき、
それを選択します。
４個のメモリから選択します。

ｄ）ＫＥＹ_ＦＩＬＥテキストボックス
ＭＳＫ－８１４のメモリに登録してあるＫＥＹファイル名を表示します。

ｅ）ＦＩＬ_ＦＩＬＥテキストボックス
ＭＳＫ－８１４のメモリに登録してあるＦＩＬＬファイル名を表示します。

ｆ）Ｗｒｉｔｅボタン
ＭＳＫ－８１４のメモリにファイルを登録します。
＊＊＊_Ｓ．ＶＴＮファイルを登録する場合は
ＦＩＬ_ＦＩＬＥに＊＊＊_Ｓ．ＶＴＮと入力します。
ＫＥＹ_ＦＩＬＥの内容は無視されます。

ｇ）ＦＡＤＥ
フェードするフレーム数を設定します。

⑥. Ｓｕｐｅｒ合成

ａ）ＴＡＫＥボタン
ＭＡＩＮ出力の合成 ON/OFF をします。

ｂ）ＰＲＥＶボタン
ＰＲＥＶＩＥＷ出力の合成 ON/OFF をします。

ｃ）ＧＡＩＮ設定スライドバー
ＧＡＩＮ設定をします。
入力値は０～９９です。

ｄ）ＳＬＩＣＥ設定スライドバー
ＳＬＩＣＥ設定をします。
入力値は０～９９です。

ｅ）入力位相設定アップダウンテキスト
入出力位相設定をします。
テキストボックスに数値を入力します。
入力値は０～４３００です

ｆ）ＦＡＤＥ
フェードするフレーム数を設定します。

ｇ）内部同期設定ラジオボタン
内部同期の種別を設定します。

⑦. ステータスバー

ａ）ステータスバー
ＭＳＫ－８１４本体との接続状態を表示します。
「通信接続中」・・・ＴＣＰ通信可能です。
「通信切断中」・・・ＴＣＰ通信不可です。

⑧. ＭＳＫ－８１４本体保存データー覧

ａ）保存データー覧表示
接続したＭＳＫ－８１４本体の保存データ（画像ファイル）一覧を表示します。

⑨. 音声合成

ａ）ＴＡＫＥボタン
ＭＡＩＮ出力の合成ＯＮ／ＯＦＦをします。

ｂ）ＰＲＥＶボタン
ＰＲＥＶＩＥＷ出力の合成ＯＮ／ＯＦＦをします。

ｃ）主信号選択１～８
合成する主信号を選択します。

ｄ）音声合成モード選択
音声合成モードを選択します。

ｅ）副信号選択
合成する副信号を選択します。

ｆ）主信号ＧＡＩＮ設定スライドバー
主信号ＧＡＩＮ設定をします。

ｇ）副信号ＧＡＩＮ設定スライドバー
副信号ＧＡＩＮ設定をします。

⑩. 合成種類選択

ａ）ＴＡＫＥボタン
ＭＡＩＮ出力の合成ＯＮ／ＯＦＦをします。

ｂ）ＰＲＥＶボタン
ＰＲＥＶＩＥＷ出力の合成ＯＮ／ＯＦＦをします。

ｃ）合成種類選択ラジオボタン
合成種類選択をします。五者択一になります。

⑪. 信号ステータス

ａ）信号ステータス
入出力信号の状態を表示します。

５．２　接続方法

ＭＳＫ－８１４Ｃｏｎｔｒｏｌ Ver.１１０を起動します。
ＩＰ ＡｄｄｒｅｓｓにＭＳＫ－８１４のＩＰアドレスを入力して 接続 を
クリックします。
※接続通信中は他の設定変更はできません。

接続できた場合はＭＳＫ－８１４本体の、現在の状態を表示します。

接続できなかった場合下記のメッセージを表示します。

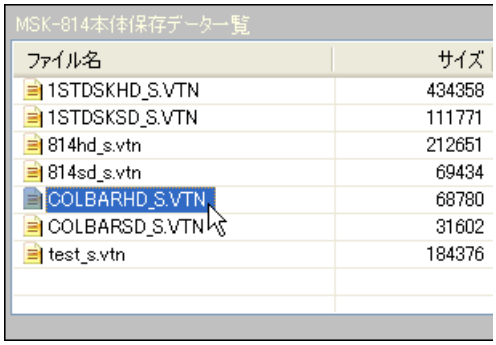
５．３　設定値取得

ＣＨタブボタンをクリックすることで、クリックしたチャンネルの設定値を取得します。

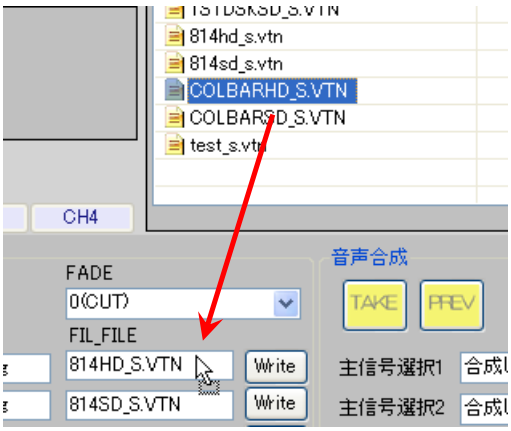
５．４　ファイル書き込み

５．４．１　本体保存データを書き込む場合

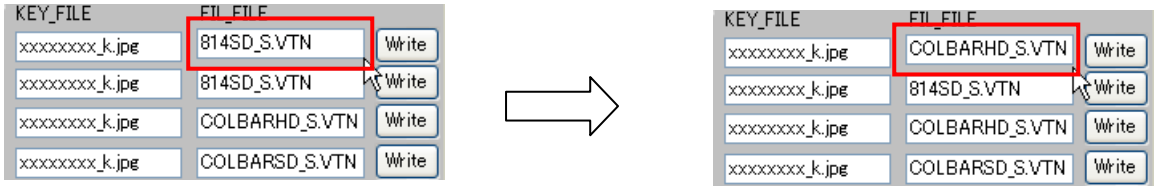
ＭＳＫ－８１４本体保存データー覧からファイルを選択します。



選択したファイルをＦＩＬ－ＦＩＬＥテキストボックスにドラッグ＆ドロップします。



ドラッグ＆ドロップするとテキストボックスの表示が選択したファイル名に
変更されます。



変更されたテキストボックスに対応する Write ボタンをクリックします。
※ Write ボタンをクリックしないとＭＳＫ－８１４のメモリに書き込まれません。

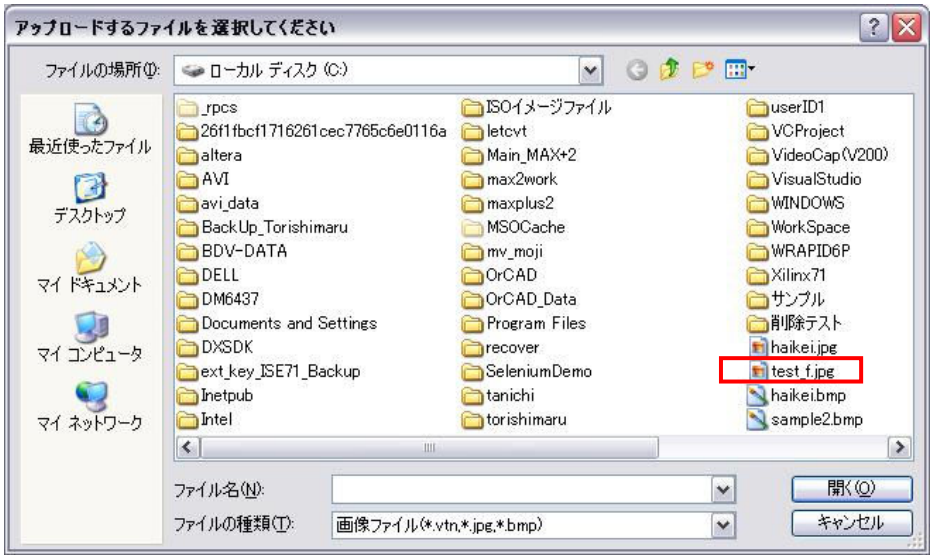
※ファイル合成中の時は下記のメッセージを表示します。
ＭＳＫ－８１４のメモリには書き込まれません。

５．４．２　ＰＣにあるデータを書き込む場合

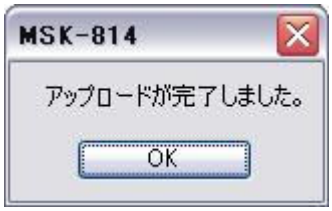
本体に書き込むデータをアップロードします。

メニュー「ＦＴＰ」→「データアップロード」をクリックします。

ファイル選択のダイアログが表示されます。
書き込みたいデータを選択し、「開く」ボタンをクリックして下さい。



アップロードが完了すると、下記メッセージボックスが表示されます。



メニュー「ＦＴＰ」→「表示更新」をクリックします。

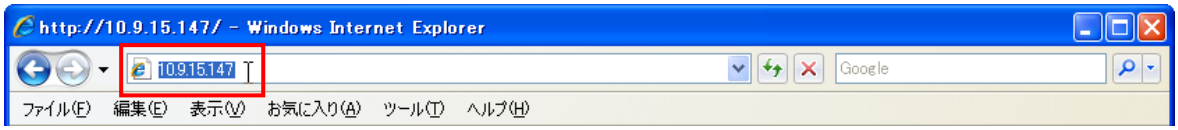
アップロードしたファイルが表示されます。

５．４．１の動作と同様、テキストボックスにドラッグ＆ドロップし
Write ボタンをクリックします。

６．ＨＴＴＰアクセス説明

６．１　起動方法

インターネットエクスプローラーを起動したら、アドレスバーにＭＳＫ－８１４の
IP アドレスを入力します。



例．ＭＳＫ－８１４のＩＰアドレスが１０．９．１５．１４７の場合、アドレスバーに
１０．９．１５．１４７を入力します。

６．２　操作画面

６．２．１　ＴＯＰ画面

ＴＯＰ画面から、メニューリンクを選択することによりそれぞれのメニューに
移動することができます。

６．２．２　機器状態問い合わせ

問い合わせボタンを押すことにより、ＭＳＫ－８１４の状態を表示することができます。

６．２．３　合成設定(ファイル)(スーパー)(音声)

合成設定(ファイル)(スーパー)(音声)の３つのメニューは同一の構成になります。

【ＣＨ１～４ＭＡＩＮメニュー】
ＭＡＩＮ出力の合成ＯＮ／ＯＦＦをします。

【ＣＨ１～４ＰＲＥＶＩＥＷメニュー】
ＰＲＥＶＩＥＷ出力の合成ＯＮ／ＯＦＦをします。

SET ボタンを押すことによってＭＳＫ－８１４本体に設定します。

READ ボタンを押すことによってＭＳＫ－８１４本体の状態を読み出します。

６．２．４　メモリ選択

【ＣＨ１～４ＭＥＭＯＲＹメニュー】
ファイル合成をするメモリを選択します。

６．２．５　フェード設定(ファイル)

【ＣＨ１～４ＦＡＤＥメニュー】
フェードするフレーム数を選択します。

６．２．６　フェード設定（スーパー）

【ＣＨ１～４ＦＡＤＥメニュー】
フェードするフレーム数を選択します。

６．２．７　内部同期種別設定

【ＣＨ１～４内部同期種別設定メニュー】
内部同期の種別を設定します。

６．２．８　入出力位相設定

【ＣＨ１～４入力位相設定メニュー】
入出力位相設定をします。
テキストボックスに数値を入力します。
入力値は０～４３００です
※入力値は必ず５桁入力してください。
（例．入力値０ → ００００、入力値４３００ → ０４３００）

7．ネットワーク設定

7．1 ネットワーク検出・設定ツール操作説明

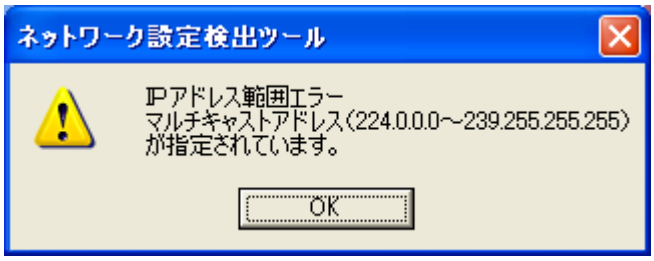
7．1．1　起動画面

MSK810ネットワーク検出設定ツールVer1001.exeを起動すると下図の起動画面が表示されます。
起動直後１度だけ、ネットワークを検索します。
検索により見つかった機器の一覧を表示します。

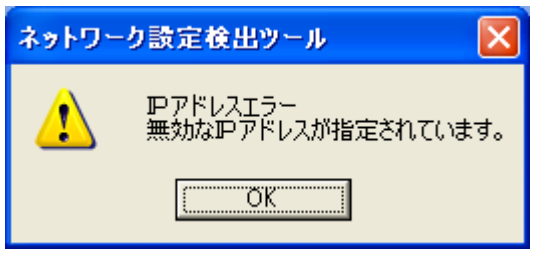
7．1．2　ＩＰ、サブネット、デフォルトゲートウェイの設定

一覧表示されている箇所をダブルクリックすると、下記のダイアログが表示されます。
表示された各パラメータは変更できます。
変更後「確認」ボタンを押すと、入力パラメータのチェックを開始します。

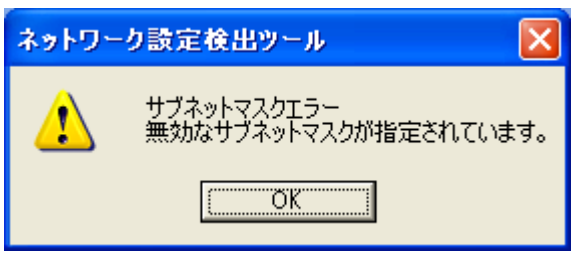
設定されたIPアドレスがマルチキャストの範囲にある場合このようなメッセージを
表示し、「OK」ボタン押下で元の画面に戻ります。



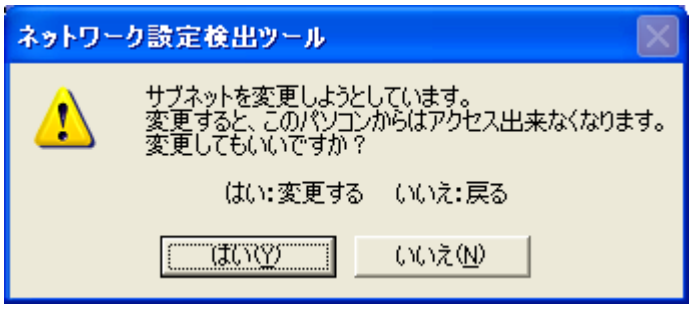
設定されたIPアドレスが0.0.0.0または255.255.255.255の場合このような
メッセージを表示し、「OK」ボタン押下で元の画面に戻ります。



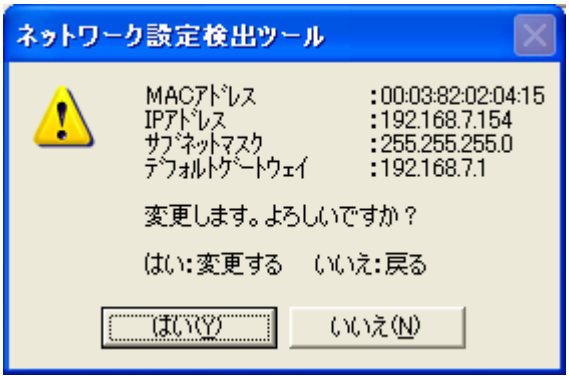
設定されたサブネットマスクが無効の場合このようなメッセージを表示し、
「OK」ボタン押下で元の画面に戻ります。
無効な場合とは次の場合です。
【全てゼロ（0.0.0.0）】
【上位ビットから見てビット１が連続していない場合。】



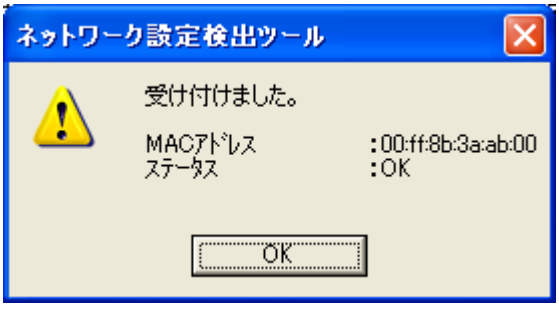
サブネットが変更される場合このようなメッセージを表示し、
「はい」「いいえ」入力を求めます。
「いいえ」ボタン押下で元の画面に戻ります。
「はい」ボタン押下で下記画面に推移します。



チェックを通過すると、入力した値が正しいか、コマンド送信しても良いかを確認するメッセージが表示されます。
「いいえ」ボタン押下で元の画面に戻ります。
「はい」ボタン押下で下記に示すコマンドを送信します。



コマンドを正しく受け付けると、以下の表示がされます。
ＭＳＫ－８１４はリブートし、設定を更新します。

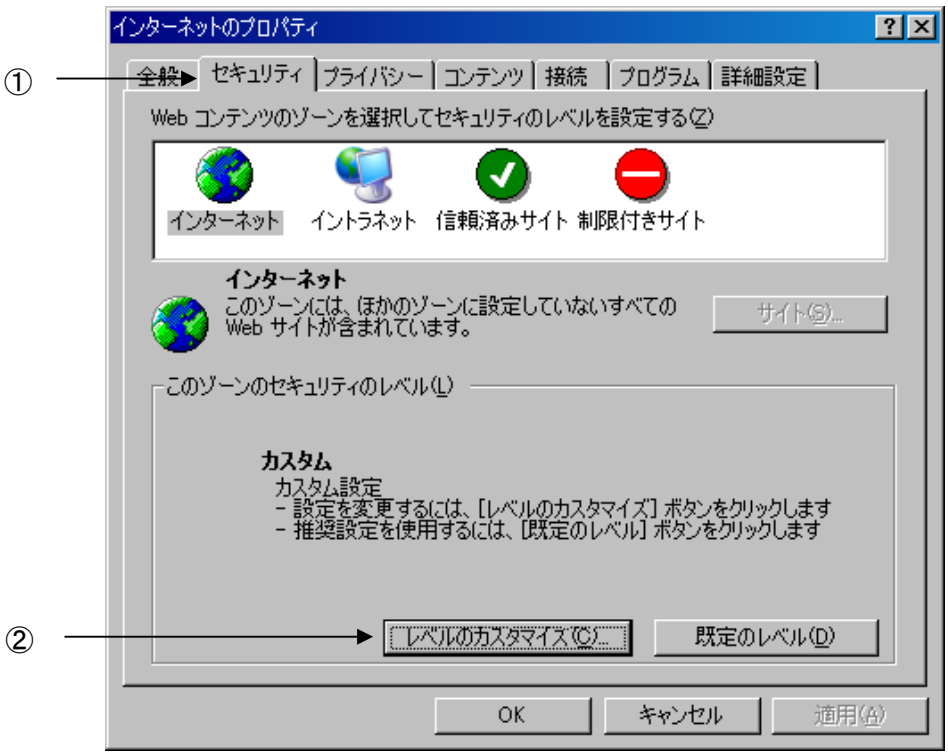


８．ＦＴＰアクセス

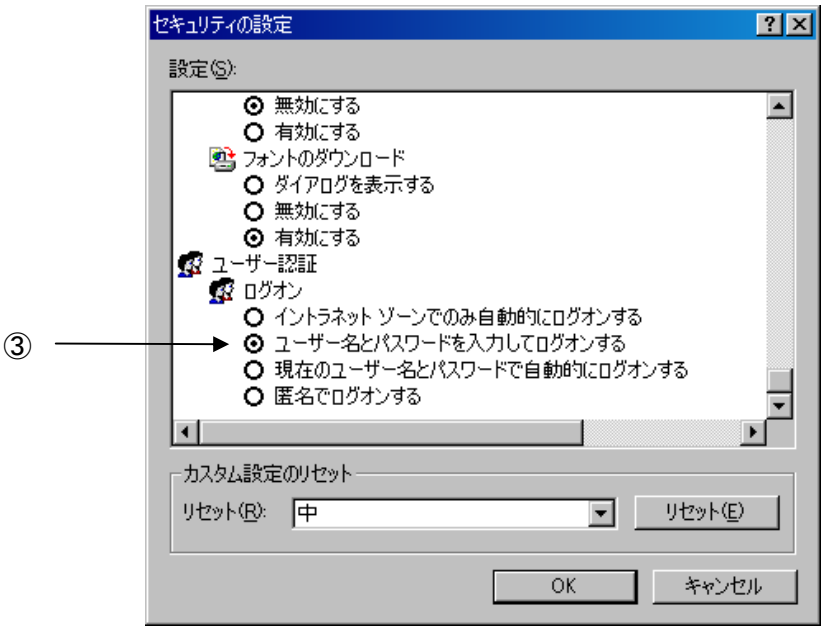
ＦＴＰ接続に対応したウェブブラウザを準備します。
以下にＩＥ６．０にてＭＳＫ－８１４にＦＴＰアクセスする方法を説明します。

８．１　ログイン方法の確認

ＩＥのアイコンを右クリックしプロパティを選択します。
①のセキュリティタブを選択し、以下の画面を表示させます。
②のレベルのカスタマイズをクリックします。



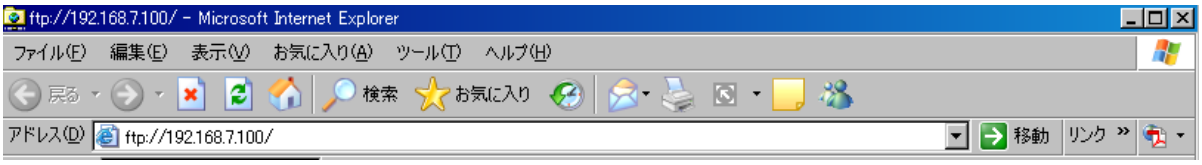
下図が表示されますので、③が指す「ユーザー名とパスワードを入力してログオンする」にチェックを入れます。



８．２　ＦＴＰログイン

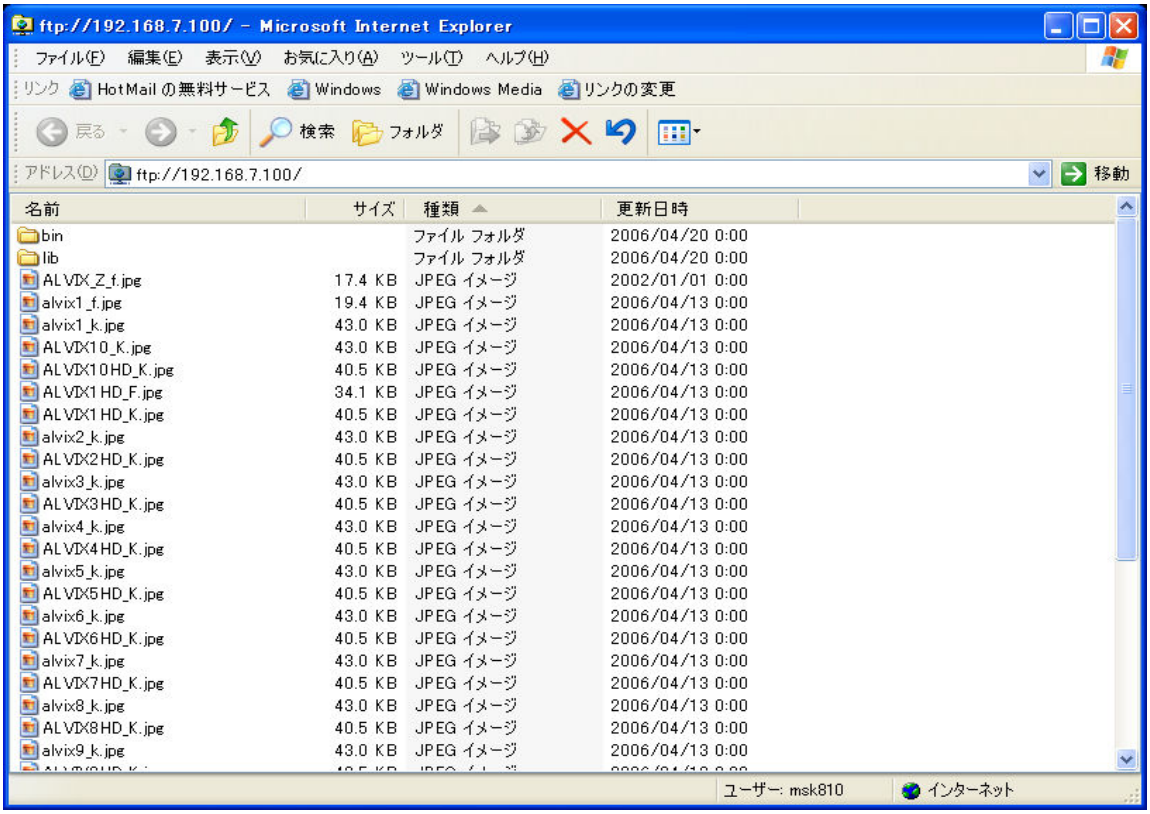
ＩＥを起動します。
アドレスバーが表示されていない場合は
メニューバーの表示ー＞ツールバーー＞アドレスバーにチェックを入れます。

アドレスバーにｆｔｐ：//１９２．１６８．７．１００/と記入します。
※ＭＳＫ－８１４のＩＰアドレスは、デフォルトでは１９２．１６８．７．１００と
　なっています。



しばらくすると下図が表示されます。
①にユーザー名ｍｓｋ
②にパスワードｍｓｋ　を入力します。
入力後③のログオンボタンをクリックします。

ログオンに成功するとＣＦ内のファイルが表示されます。



９．合成手順

ＭＳＫ－８１４を動作させる為の手順を以下に説明します。

９．１　接続構成（１台構成時）

ＭＳＫ－８１４とＰＣまたは　コントロールパネルをネットワークで接続します。

９．２　合成手順

①ファイルの転送
あらかじめ作成しておいた合成用ファイル（ＦＩＬＬ及びＫＥＹ）をＰＣより
ＦＴＰ転送にてＭＳＫ－８１４のＣＦ（コンパクトフラッシュ）に転送します。
（ＦＴＰアクセス方法については、「８．ＦＴＰアクセス」を参照してください。）

②合成メモリへのファイルの書き込み
ＦＴＰにてＭＳＫ－８１４のＣＦ（コンパクトフラッシュ）に転送後
ＭＳＫ－８１４本体の合成メモリに、ファイルの内容を書き込む必要があります。
（１ｃｈに４つの合成メモリがあります）
書き込みには、ＭＳＫ－８１４コントロールソフトを使用します。
（書き込み方法については、「５．外部通信コントローラ操作説明」を参照して
ください。）

③合成
①、②の手順を終えた後、合成をＯＮするとメモリの内容が合成されます。

１０．ファイル仕様

１０．１　ファイル仕様

合成メモリへ書き込みできるファイルとしては、ＢＭＰとＪＰＥＧファイルと
ＶＴＮファイルが使用可能です。
書き込み可能なフォーマットを以下に説明します。

１０．１．１　ＢＭＰファイル

ビット数　　２４ｂｉｔ
水平サイズ　　１９２０
垂直サイズ　　１０８０

※２４ビット以外のファイルは書き込み不可です。
※ファイルの大きさが水平１９２０、垂直１０８０を超えるものは
　書き込みしないで下さい。正しくデータを書き込みできません。

１０．１．２　ＪＰＥＧファイル

ＪＰＥＧファイル、または、ＭＳＫ８２２独自フォーマットのＪＰＥＧ
（独自フォーマットについては、「１０．２　ＪＰＥＧファイル仕様」にて説明）

※ファイルの大きさが水平１９２０、垂直１０８０を超えるものは
　書き込みしないで下さい。正しくデータを書き込みできません。

１０．１．３　ＶＴＮファイル

独自フォーマット（ＫＥＹ、ＦＩＬＬのｊｐｇが1ファイルになっている）

１０．１．４　ファイル名

ＭＳＫ－８１４の合成メモリに書き込むファイルは、
ＦＩＬＬ（合成画像）、ＫＥＹ（ＫＥＹ信号）の２種類が必要です。
ＦＩＬＬ、ＫＥＹそれぞれの名前の指定の仕方を説明します。

【ＢＭＰ、ＪＰＥＧの場合】
ＦＩＬＬ（合成画像）　＊＊＊＊_Ｆ．ｊｐｇ　または　＊＊＊＊_Ｆ．ｂｍｐ
ＫＥＹ（ＫＥＹ信号）　＊＊＊＊_Ｋ．ｊｐｇ　または　＊＊＊＊_Ｋ．ｂｍｐ
＊の部分は任意の文字です。ファイル名の長さは拡張子含めて１４文字以内です。

【ＶＴＮの場合】
ＦＩＬＬ（合成画像）　＊＊＊＊_Ｓ．ＶＴＮ
ＫＥＹ（ＫＥＹ信号）　無し。（指定が有っても無視されます）
＊の部分は任意の文字です。ファイル名の長さは拡張子含めて１４文字以内です。

※登録の際ＦＩＬＬとＫＥＹのフォーマットが違う場合
　（一方がＢＭＰ、もう一方がＪＰＥＧ）は登録（書き込み）不可です。
※ＦＩＬＬとＫＥＹのファイルの大きさ（水平、垂直）は同じとして下さい。
　正しくデータを書き込みできません。
　違った場合は、ＫＥＹのサイズで合成します。

１０．２　ＪＰＥＧファイル仕様

ＭＳＫ－８１４では、ＫＥＹファイル（ＪＰＥＧ）に独自情報を組み込む事で
合成ファイルの表示位置、ＦＡＤＥ設定、ＦＡＤＥスピードを設定する事ができます。
以下に独自情報の構成、フォーマットを説明します。

１０．２．１　独自情報位置

ＭＳＫ－８１４独自情報は、ＪＰＥＧオプションのＣＯＭセグメントマーカーに置きます。
ＣＯＭセグメントマーカーの構成は、以下のようになります。

Ｎｏ	名　前	内　容	サイズ（ｂｙｔｅ）	備　考
１	ＣＯＭ	０ｘＦＦ　０ｘＦＥ	２	コメントマーカー
２	長さ	０ｘ００　０ｘ１２	２	長さ
３	ＤＡＴＡ		１６	情報データ

ＣＯＭセグメントマーカーは、ＳＯＳセグメントの前に位置させます。

ＳＯＩ
・
ＣＯＭ
ＳＯＳ
・
ＥＯＩ

１０．２．２　情報データフォーマット

ＣＯＭセグメントマーカー内の情報データはバイナリーで以下のようになります。

Ｎｏ	名　前	内　容	サイズ(ｂｙｔｅ)	備　考
１	ＲＥＳＥＲＶＥＤ		１	
２	ＰＯＳＩ．Ｈ	ＨＤ：±１９２０ ＳＤ±７２０	２	横の画像位置（ｄｏｔ）
３	ＰＯＳＩ．Ｖ	ＨＤ：±１０２４ ＳＤ±４８６	２	縦の画像位置（ｌｉｎｅ）
４	ＴＲＡＮＳ ＭＯＤＥ	０：ＣＵＴ　１：ＦＡＤＥ	１	ＦＡＤＥ設定
５	ＴＲＡＮＳ ＳＰＥＥＤ	１～３００	２	ＦＡＤＥスピード
６	ＲＥＳＥＲＶＥＤ		１	
７	ＲＥＳＥＲＶＥＤ		１	
８	ＲＥＳＥＲＶＥＤ		１	
９	ＲＥＳＥＲＶＥＤ		１	
１０	ＲＥＳＥＲＶＥＤ		１	
１１	ＲＥＳＥＲＶＥＤ		１	
１２	ＲＥＳＥＲＶＥＤ		１	
１３	ＲＥＳＥＲＶＥＤ		１	

例）ＰＯＳＩ．Ｈ　３６０、ＰＯＳＩ．Ｖ　５０
　　ＴＲＡＮＳ　ＭＯＤＥ　１、ＴＲＡＮＳ　ＳＰＥＥＤ　３００　時のデータ並び

		POSI.H	POSI.V	TRANS MODE	TRANS SPEED	
ff fe	00 12	00 01 2c	00 32	01	01 2c	01 00 00 00 00 00 00 00
COM	長さ	DATA				

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

ＴＥＬ
担　当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒９５９－０２１４
新潟県燕市吉田法花堂１９７４－１
ＴＥＬ：０２５６－９３－５０３５
ＦＡＸ：０２５６－９３－５０３８